

岩津ねぎだより

号外

平成30年7月10日
岩津ねぎ産地協議会
生産支援チーム

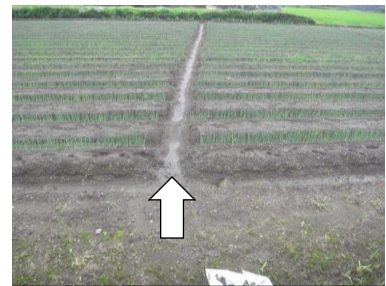
台風7号と梅雨前線の影響から7月3日以降、雨が多く、定植を終えたほ場で、降雨の間冠水したほ場も一部で見られ、今後湿害が心配な状況です。

① 定植ほ場の排水対策に努めましょう

雨の影響から、ほ場内が飽水状態となり、一部のほ場では谷に水が溜まっている状態です。ほ場周りの排水溝を確認し、ほ場内の水が一刻も早く排水できるように、排水溝に溜まった泥や土を速やかにさらえましょう。



ほ場周囲の排水溝を深くさらえる。



上記写真のように、条間やほ場中央部に排水溝を設置し、排水に努めましょう。

② 予防防除に努めましょう

定植が完了したほ場で、風雨で葉が傷んだり、冠水で泥が跳ね上がったところでは、病原菌が侵入しやすくなり、軟腐病やべと病等が発生し易い条件となっています。ほ場の状態を確認し、Zポルドー(水和剤)500倍液を散布し、予防に努めましょう。

③ 中耕作業で酸素の補給

今回の降雨により、ほ場の土が硬く固まり、土中の酸素不足が心配されます。

今後は晴天の日が続く予報となっていますので、ほ場の状態を見ながら、管理機で条間の中耕、土入れ作業を実施しましょう。



④ ベと病が地床苗で発生しています

現在、地床苗での発生が散見されますので、下表を参考に防除を実施して下さい。



葉に黄白色の不鮮明な病斑を生じる。
やがて、灰白色の霜状のカビを生じる。

べと病の病斑 左は、霜状のかびが生じている様子

病気	予防・治療効果	農薬名	倍率	耕種的防除
べと病	予防・治療効果	リドミルゴールドMZ ※ アミスター20フロアブル *	1000倍 2000倍	①霜状のカビが生えた病斑を見つけたら、苗床から持ち出して処分しましょう。 ②窒素肥料は適切に使用しましょう。 ③今年発生した苗床は来年使用しない。
	予防効果	テーク水和剤 ※ ペンコゼブフロアブル ※ ダコニール1000 アリエッティ水和剤	600倍 1000倍 600倍 800倍	

※マンネブ剤を含む農薬で、総使用回数は3回以内です。

*アミスター20フロアブルは、使用回数が4回以内です。

注意) 農薬は、使用基準を守って使用しましょう。

⑤ 苗の倒伏に注意

地床育苗の苗が、倒伏や葉折れしたほ場が見られます。

倒伏している苗は、丁寧に手で起こし、株元に軽く土寄せを行い、苗が曲がるのを防止しましょう。また、苗の周りにヒモを張るなどの対策に努めましょう。



<問合せ先>
 和田山営農生活センター : 672-4800
 朝来営農生活センター : 670-4341
 山東営農生活センター : 670-7744
 朝来農業改良普及センター : 672-6886